

2020 年度 4 年次アンケート調査の結果報告

本学では、毎年 12 月～2 月にかけて、4 年次を対象とした「教育・学生生活に関するアンケート調査」（以下「4 年次アンケート」と表記）を行っている。このアンケート調査は、学部最終学年である 4 年次の学生が、本学の教育内容や学生生活についてどのような意識を持っているのか、また本学学生の学習実態などを明らかにすることで、今後の教育改善に活かすことを目的としている。ここでは、2020 年度に実施した 4 年次アンケートの主な項目の分析結果を中心に報告する。

調査概要は以下の通りである。

目的：東京女子大学に通っている学生の学習及び大学生活に関する意識・実態調査

方法：Web 調査

対象：東京女子大学に在籍している 4 年次学生、1038 名（2021 年 1 月 1 日時点）

調査期間：2021 年 1 月 15 日～2021 年 3 月 31 日

有効回答数：792 名

有効回答回収率：76.3%

調査項目：アンケートの調査票は「基本事項」、「学業」、「学生生活」、「課外・学外の活動」、「学修支援」、「進路」、「その他」（自由記述）の項目で構成している。

本報告書では、「学業」に関する項目から、大学 4 年間の学生生活を通じての授業に対する満足度や、身についたと思うスキル・能力等を報告する。

また、本報告書で用いるデータは全数調査によるものなので有意確率（ p 値）は報告せず、平均値・標準偏差および効果量（ η^2 ）のみを報告する。なお、 η^2 については、Cohen(1988)の基準 $\eta^2 = .01$ (small) , $\eta^2 = .06$ (medium) and $\eta^2 = .14$ (large) を用いた。

なお、参考のため過去 5 年間の回収率を表 1 に示しておく。2020 年度は、調査方法を質問紙調査から Web 調査へ変更したため、回収率が例年より低くなった。

表 1 年度別に見た 4 年次アンケートの回収率

2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度 (Web 調査)
86.3%	84.4%	83.9%	83.8%	85.9%	76.3%

(1)授業に対する満足度の集計・分析結果

「授業全般」、「全学共通カリキュラムの科目の授業」、「第一外国語科目等の英語の授業」「第二外国語科目の授業」「学科科目（専門）の授業」「卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究」の6つのカテゴリー別に、大学4年間の学修を通じての授業の満足度を尋ねたところ、表2のような結果となった。「大変満足している」、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」の3つを合計した割合は、「授業全般」「全学共通カリキュラム」「学科科目（専門）の授業」の項目で9割以上であった。「第二外国語科目の授業」と「卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究」も8割を超えており、授業に対する満足度は全体的に高いと言える。

表2 授業に対する満足度 (n=792)

	大変満足 している	満足 している	どちらかと 言えば満足 している	どちらかと 言えば満足 していない	満足 していない	全く満足 していない
	% (n)	% (n)	% (n)	% (n)	% (n)	% (n)
授業全般	16.2 (128)	46.5 (368)	29.4 (233)	5.7 (45)	1.8 (14)	0.5 (4)
全学共通 カリキュラム	14.0 (111)	43.4 (344)	33.7 (267)	5.9 (47)	2.3 (18)	0.6 (5)
第一外国語科目等 の英語の授業	8.3 (66)	30.6 (242)	36.0 (285)	16.7 (132)	6.1 (48)	2.4 (19)
第二外国語科目の授業	15.8 (125)	37.0 (293)	31.3 (248)	9.6 (76)	4.7 (37)	1.6 (13)
学科科目（専門）の授業	24.9 (197)	46.5 (368)	22.1 (175)	4.2 (33)	1.4 (11)	1.0 (8)
卒業論文、 Final Presentation、 数学講究、情報理学講究	22.6 (179)	41.4 (328)	22.9 (181)	8.8 (70)	3.0 (24)	1.3 (10)

授業に対する満足度を専攻別、志望順位別に比較するため、まず「大変満足している」=6、「満足している」=5、「どちらかと言えば満足している」=4、「どちらかといえば満足していない」=3、「満足していない」=2、「全く満足していない」=1と点数化し、それぞれの項目の平均値及び標準偏差を算出した（表3～表14）。

表3～表8は、専攻別に見た授業に対する満足度に関する6項目の平均値および標準偏差を示している。全ての項目かつ専攻で、満足度の平均値が4.0以上となった。効果量を見ても、全ての項目で専攻による違いは見られない。

表3 専攻別に見た「授業全般」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.71	0.973	31	$\eta^2 = .018$
日本文学	4.82	0.884	109	
英語文学文化	4.59	1.023	128	
史学	4.69	0.950	68	
国際関係	4.72	0.852	93	
経済学	4.52	0.850	48	
社会学	4.40	0.964	42	
心理学	4.80	0.665	86	
コミュニケーション	4.63	0.877	80	
言語科学	4.58	1.083	55	
数学	4.88	0.850	24	
情報理学	4.86	0.756	28	
合計	4.68	0.907	792	

表4 専攻別に見た「全学共通カリキュラムの科目の授業」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.74	0.965	31	$\eta^2 = .013$
日本文学	4.72	0.989	109	
英語文学文化	4.55	0.979	128	
史学	4.54	1.057	68	
国際関係	4.57	0.937	93	
経済学	4.50	0.825	48	
社会学	4.31	1.024	42	
心理学	4.60	0.656	86	
コミュニケーション	4.51	0.955	80	
言語科学	4.67	0.795	55	
数学	4.71	0.999	24	
情報理学	4.75	0.752	28	
合計	4.59	0.924	792	

表5 専攻別に見た「第一外国語科目等の英語の授業」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	3.68	1.400	31	$\eta^2 = .032$
日本文学	4.07	1.086	109	
英語文学文化	4.42	1.032	128	
史学	4.04	1.071	68	
国際関係	4.03	1.098	93	
経済学	3.90	1.207	48	
社会学	3.79	1.138	42	
心理学	4.02	1.106	86	
コミュニケーション	4.13	1.095	80	
言語科学	4.38	1.114	55	
数学	4.29	1.042	24	
情報理学	4.18	1.188	28	
合計	4.11	1.119	792	

表 6 専攻別に見た「第二外国語科目の授業」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.23	1.146	31	$\eta^2 = .016$
日本文学	4.47	1.159	109	
英語文学文化	4.52	1.143	128	
史学	4.53	1.152	68	
国際関係	4.66	1.005	93	
経済学	4.38	0.937	48	
社会学	4.43	0.941	42	
心理学	4.40	1.077	86	
コミュニケーション	4.28	1.091	80	
言語科学	4.16	1.330	55	
数学	4.58	1.213	24	
情報理学	4.64	1.026	28	
合計	4.45	1.111	792	

表 7 専攻別に見た「学科科目（専門）の授業」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.81	1.046	31	$\eta^2 = .021$
日本文学	5.09	0.996	109	
英語文学文化	4.78	1.011	128	
史学	4.78	0.912	68	
国際関係	4.84	0.851	93	
経済学	4.58	0.986	48	
社会学	4.71	1.066	42	
心理学	4.98	0.907	86	
コミュニケーション	4.89	0.842	80	
言語科学	4.76	1.036	55	
数学	5.13	0.850	24	
情報理学	4.93	0.766	28	
合計	4.86	0.951	792	

表 8 専攻別に見た「卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.74	0.999	31	$\eta^2 = .031$
日本文学	4.65	1.117	109	
英語文学文化	4.70	1.133	128	
史学	4.46	1.125	68	
国際関係	4.57	1.087	93	
経済学	4.58	1.048	48	
社会学	4.40	0.989	42	
心理学	4.81	0.927	86	
コミュニケーション	4.66	0.993	80	
言語科学	4.69	1.318	55	
数学	5.04	1.197	24	
情報理学	5.43	0.742	28	
合計	4.68	1.087	792	

次に、表 2 にある 6 項目の得点を合計し項目数で割った項目平均 ($M=4.56$, $SD=0.784$, 最大=6, 最小=1, 因子分析で一次元性も確認。 $\alpha = .861$) を算出し (以降「授業満足度得点」とする)、専攻別および志望順位別に満足度得点を比較した。

表 9 は、専攻別に見た授業に対する授業満足度得点の分析結果である。全ての専攻で、平均値が 4.0 以上であり、授業に対する満足度が高いと言える。効果量は小さく ($\eta^2 = .015$)、授業満足度得点に関する専攻の差は見られない。

表 9 専攻別に見た授業満足度得点

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.48	0.919	31	$\eta^2 = .015$
日本文学	4.64	0.778	109	
英語文学文化	4.59	0.871	128	
史学	4.51	0.804	68	
国際関係	4.56	0.699	93	
経済学	4.41	0.760	48	
社会学	4.34	0.810	42	
心理学	4.60	0.629	86	
コミュニケーション	4.51	0.780	80	
言語科学	4.54	0.904	55	
数学	4.77	0.705	24	
情報理学	4.80	0.670	28	
合計	4.56	0.784	792	

図1～図6は、2017年度～2020年度の授業満足度について、「大変満足している」「満足している」「どちらかと言えば満足している」の回答結果を比較したグラフである。なお、「第二外国語の授業に対する満足度（図4）」は、2019年度から設問を追加した。「第一外国語科目等の英語の授業」「第二外国語の授業」は概ね毎年80%前後であり他の項目と比べて若干物足りなさを感じているようである。一方、その他の項目は概ね毎年90%以上であり、本学の授業に対する満足度は非常に高いと言える。今年度は、いずれの項目においても「大変満足している」と回答した割合が増えているが、肯定的な回答全体は減っている。コロナ禍によりオンラインでの授業となったことが一因と考えられる（例えば、オンライン授業には満足しているが、オンラインそのもの（大学に来られないこと）への不満など）。

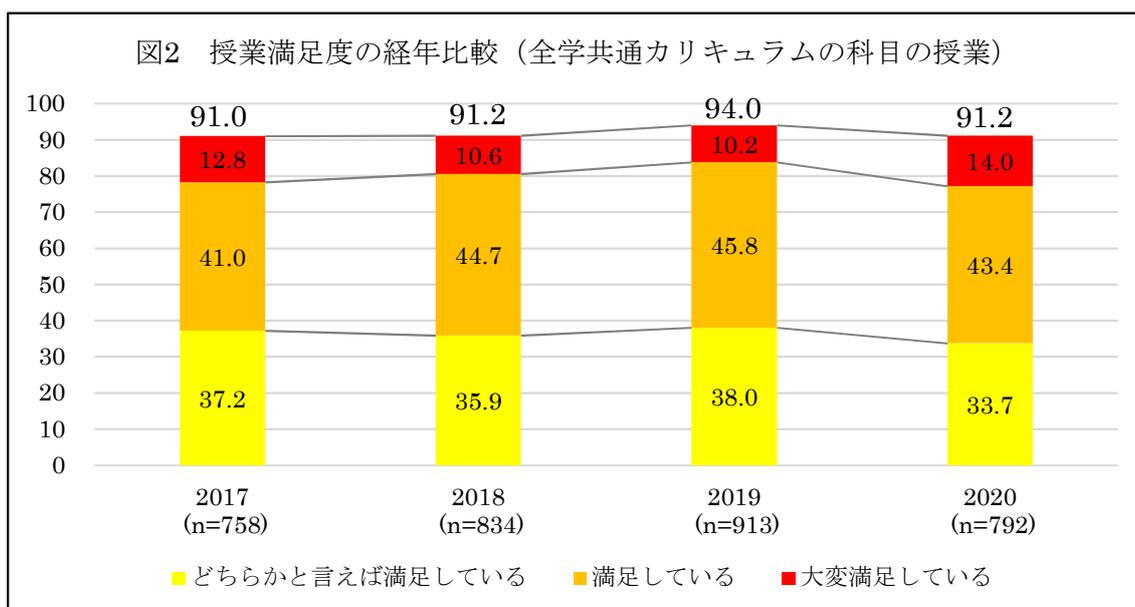
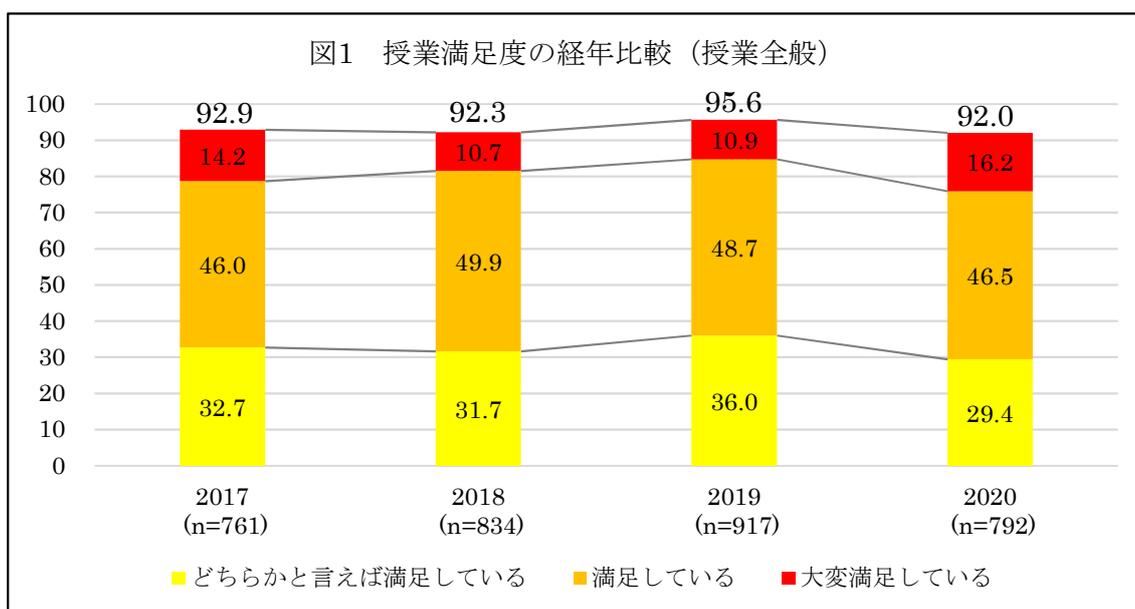


図3 授業満足度の経年比較（第一外国語科目等の英語の授業）

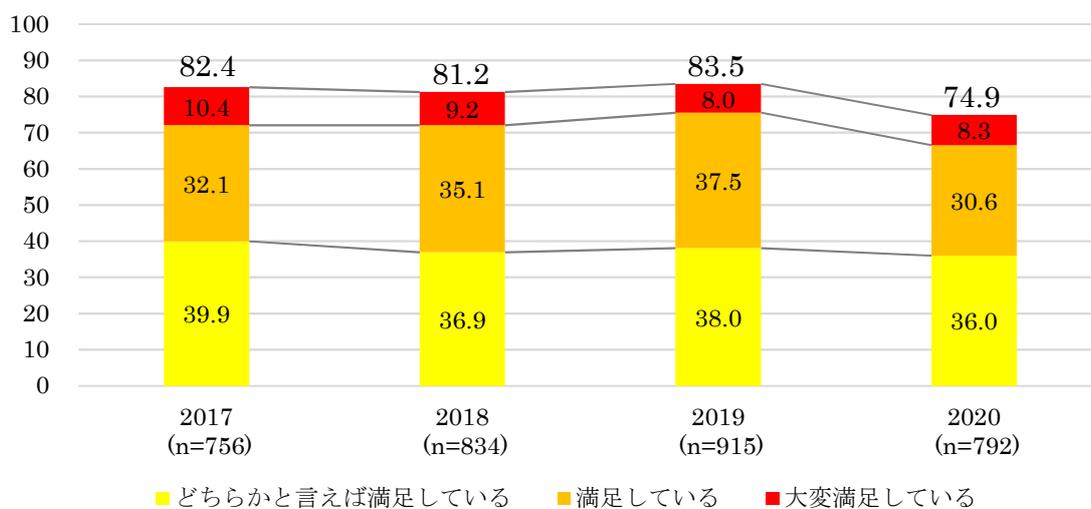


図4 授業満足度の経年比較（第二外国語科目）

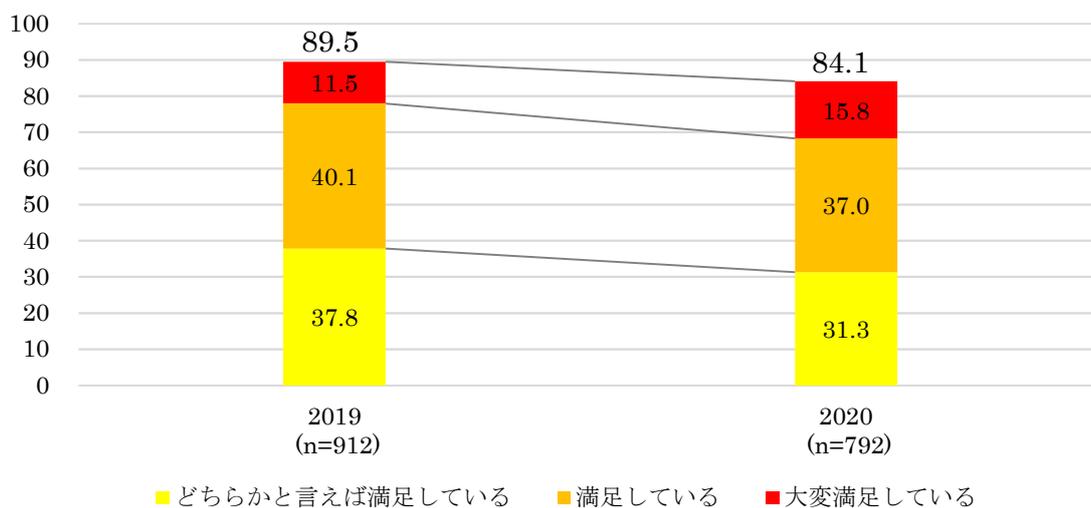


図5 授業満足度の経年比較 (学科科目 (専門) の授業)

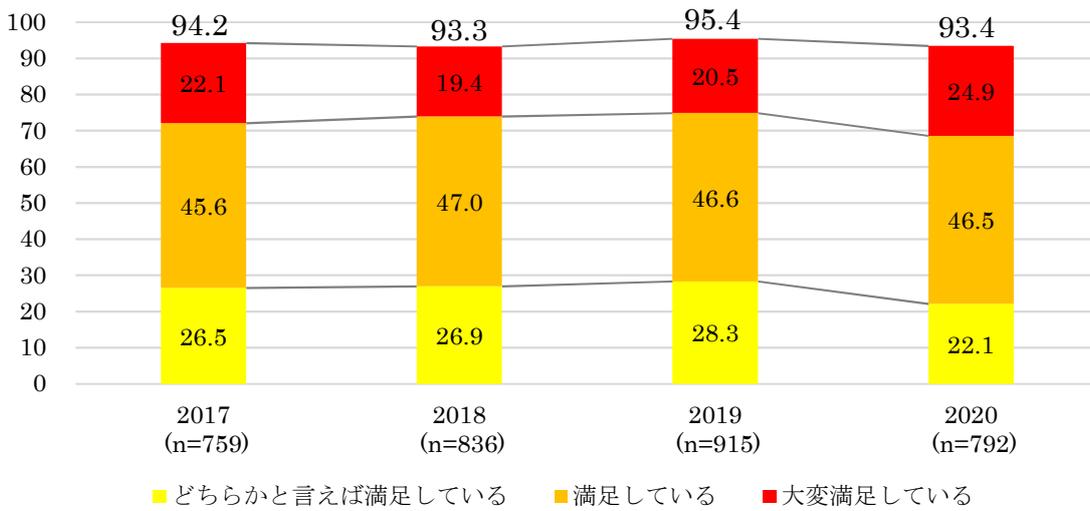
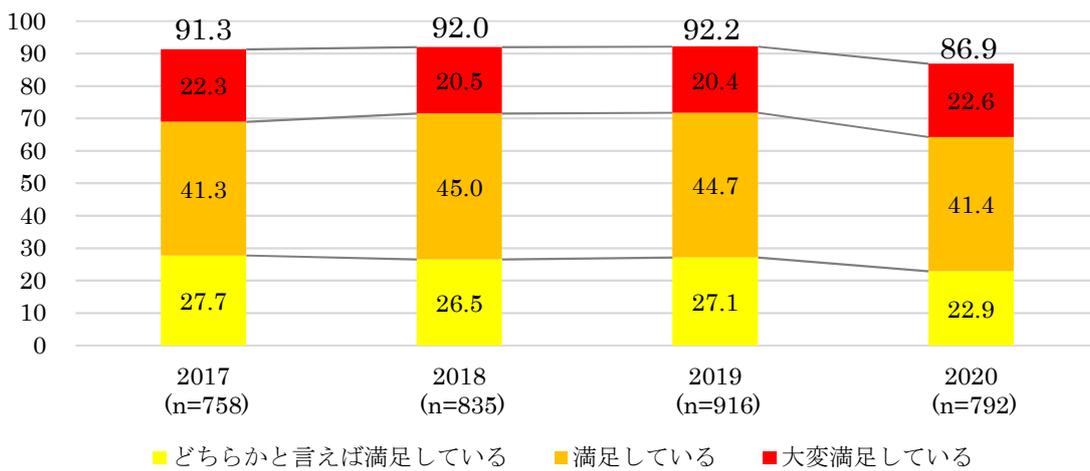


図6 授業満足度の経年比較 (卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究)



(2) 理解が深められたと思う項目の集計・分析結果

図7は、「大学での4年間の学びを通じて理解を深めることができたと思うこと」を調べるため、「日本の歴史と文化に対する理解」「多文化・異文化に対する理解」「国際的な諸問題に対する理解」「現代社会で生起する諸問題に対する理解」「自然や環境問題に対する理解」「自己の身体に対する理解」「キリスト教に対する理解」「ジェンダー問題に対する理解」「自分の専攻分野に関する理解」「自分の専攻分野に隣接する分野の理解」の10項目について集計した結果である。

「非常にそう思う」「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の3つを合計した割合を見ると、「ジェンダー問題に対する理解」が最も高く、96.7%だった。次に「自分の専攻分野に関する理解」で96.4%、「キリスト教に対する理解」の92.8%、「多文化・異文化に対する理解」の91.0%であった。

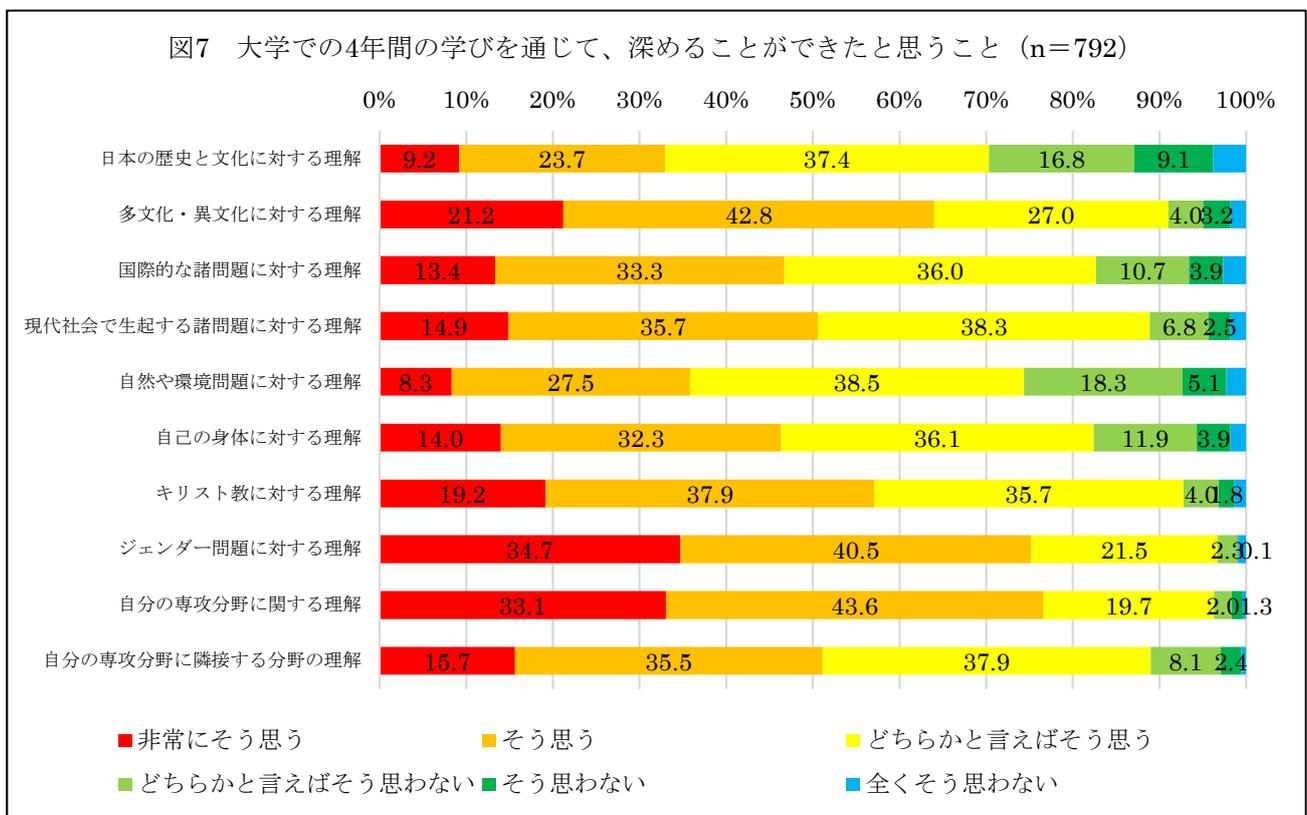


図 7 に示した 10 項目について、得点を合計しそれを項目数で割った項目平均を算出し、「理解総合得点」(M=4.52, SD=0.731, 最大=6, 最小=1; 因子分析で次元性も確認。α = .887) として、専攻別、志望順位別に理解総合得点を比較した。

表 10 は、専攻別の理解総合得点である。平均値が一番高い専攻で M=4.66、一番低い専攻で M=4.30 だった。効果量は小さく ($\eta^2 = .028$)、専攻間における理解総合得点の差は見られない。

表 10 専攻別の理解総合得点

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.40	0.888	31	$\eta^2 = .028$
日本文学	4.66	0.724	109	
英語文学文化	4.55	0.813	128	
史学	4.62	0.696	68	
国際関係	4.65	0.684	93	
経済学	4.38	0.583	48	
社会学	4.32	0.913	42	
心理学	4.38	0.656	86	
コミュニケーション	4.43	0.665	80	
言語科学	4.55	0.725	55	
数学	4.63	0.657	24	
情報理学	4.30	0.657	28	
合計	4.52	0.731	792	

(3) 身についたスキルに関する項目の集計・分析結果

図8は「大学4年間の学びを通じてどのようなスキルや力を身につけることができたと思うか」を調べるため、「学術的な文献の読解力」、「人の話を聞いて、要点をつかむ力」、「プレゼンテーションにおいて、効果的に話をする力」、「ディスカッションにおいて、論理的に意見を述べる力」、「論理的でわかりやすい文章を書く力」、「わかりやすいプレゼンテーション資料を作成する力」、「パソコンで図表を作成する力」、「課題に応じて、適切な資料を収集する力」、「相手や場面に応じたコミュニケーション力」、「グラフや表で示された統計資料を理解できる力」の10項目について分析したものである。

「学術的な文献の読解力」、「人の話を聞いて、要点をつかむ力」、「論理的でわかりやすい文章を書く力」、「わかりやすいプレゼンテーション資料を作成する力」、「課題に応じて、適切な資料を収集する力」、「相手や場面に応じたコミュニケーション力」の6項目で、「非常にそう思う」「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の3つを合計した割合が8割を超えた。他の項目でも7割を超えており、本学での学びを通して汎用的なスキルや力を身につけられていると考えている学生が多い事がわかった。

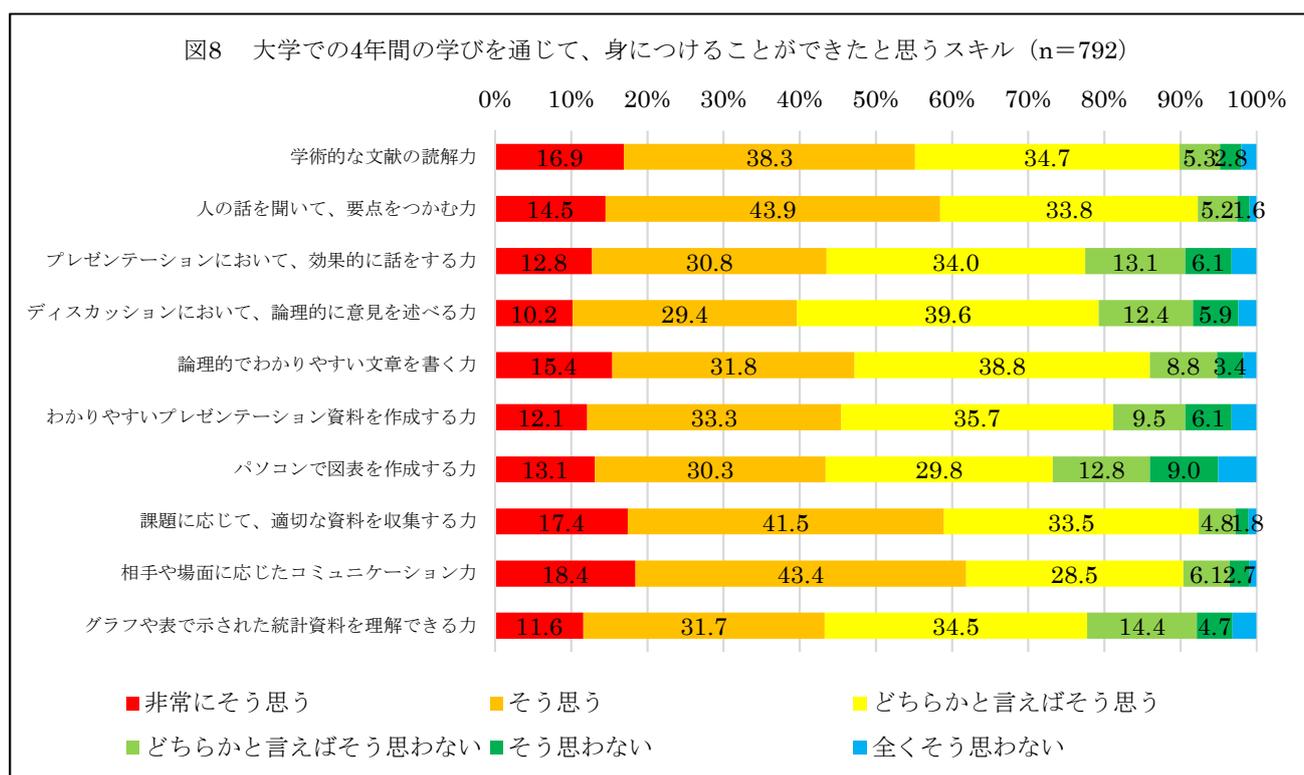


図 8 に示した 10 項目についても、得点を合計しそれを項目数で割った項目平均を算出し、「スキル総合得点」(M=4.39, SD=0.842, 最大=6, 最小=1 ; 因子分析で一次元性も確認。α = .921) として、専攻別、志望順位別にスキル総合得点を比較した。

専攻別にスキル総合得点を見ると (表 11)、一番高い専攻で M=4.61、一番低い専攻で M=4.07 だった。効果量は $\eta^2 = .041$ で、専攻間の得点差は中程度だった。

表 11 専攻別のスキル総合得点

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.19	0.982	31	$\eta^2 = .041$
日本文学	4.44	0.773	109	
英語文学文化	4.17	1.003	128	
史学	4.27	0.906	68	
国際関係	4.39	0.773	93	
経済学	4.56	0.623	48	
社会学	4.07	0.810	42	
心理学	4.61	0.757	86	
コミュニケーション	4.60	0.694	80	
言語科学	4.48	0.843	55	
数学	4.44	0.874	24	
情報理学	4.36	0.820	28	
合計	4.39	0.842	792	

(4) 身についた能力に関する項目の集計・分析結果

図9は、「大学での4年間の学びを通じてどのような能力を身につけることができたと思うか」を調べるため、「問題を発見し、的確に把握する力」、「状況を的確に判断する力」、「課題に応じ、収集した情報を効果的に活用する力」、「物事を偏りなく多角的に検討する力」、「問題を解決する力」、「肯定的な意味で批判的に考える力」、「数字やデータに基づいて物事を考える力」、「自らを律して行動できる力」、「責任感」、「倫理観」、「率先してグループをまとめリードする力」、「人間関係を築いたり調整したりする力」、「主体的に行動する力」、「自主的に学習を継続する力」の14項目について分析したものである。

「数字やデータに基づいて物事を考える力」と「率先してグループをまとめリードする力」を除いた12項目で、肯定的な意見が8割を超えた。

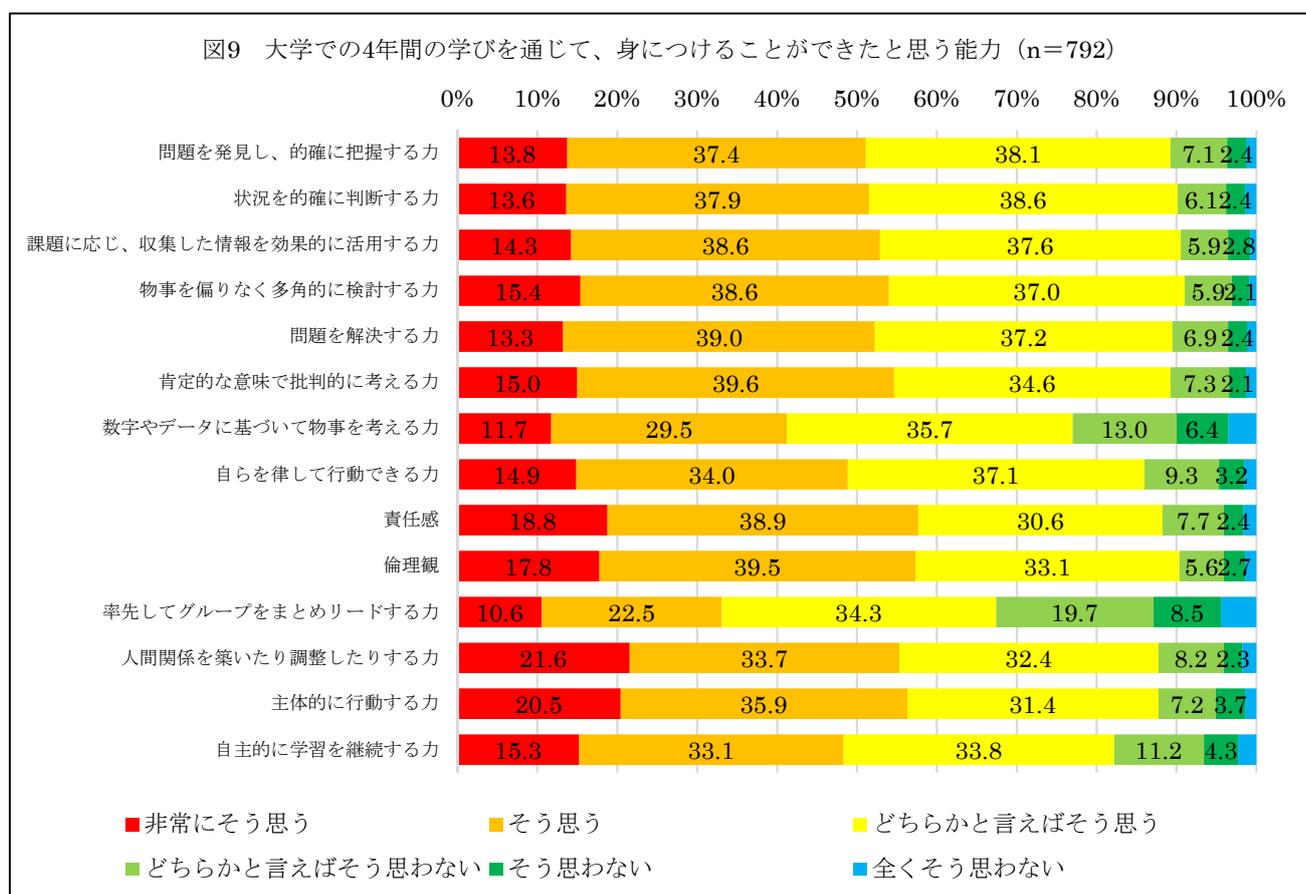


図9に示した14項目についても、得点を合計しそれを項目数で割った項目平均を算出し、「能力総合得点」(M=4.46, SD=0.808, 最大=6, 最小=1; 因子分析で次元性も確認。α=.946)として、専攻別、志望順位別に能力総合得点を比較した。

専攻別に能力総合得点を見ると（表 12）、平均値が一番高い専攻で M=4.69、一番低い専攻で M=4.22 だった。効果量は $\eta^2 = .012$ で、能力総合得点の専攻差は小さい。

表 12 専攻別の能力総合得点

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
哲学	4.22	0.879	31	$\eta^2 = .012$
日本文学	4.48	0.780	109	
英語文学文化	4.42	0.952	128	
史学	4.46	0.835	68	
国際関係	4.47	0.761	93	
経済学	4.52	0.639	48	
社会学	4.29	0.941	42	
心理学	4.52	0.673	86	
コミュニケーション	4.41	0.797	80	
言語科学	4.59	0.764	55	
数学	4.69	0.882	24	
情報理学	4.45	0.669	28	
合計	4.46	0.808	792	